

第 35 回 福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨

日時：令和4年2月22日(火) 17:30～20:00

場所：オンライン

出席者：委員14名、淀川河川事務所2名、事務局2名

1. 議事内容

(1) 報告

淀川管内河川レンジャー代表者会議開催の報告

(2) 任命

令和3年度新規河川レンジャーの任命

(3) 審議

1) 河川レンジャー活動の成果と課題及び令和4年度河川レンジャー年間活動計画(案)

2) 令和4年度新規河川レンジャー展開計画(案)

(4) その他

今後のスケジュール(案)

2. 決定事項

- 今年度、以下の2名が河川レンジャーとして任命された。

所属運営会議	所属出張所	氏名
福島・毛馬出張所管内	福島出張所	まきの たかてる 牧野 高輝
	毛馬出張所	まつだ まさひろ 松田 正浩

- 令和4年度河川レンジャー年間活動計画(案)が委員の確認を経て決定された。
- 令和4年度新規河川レンジャー展開計画(案)が委員の検討を経て決定された。
- 毛馬出張所管内の阿部レンジャーは、令和4年度の年間活動計画が未提出であり、本会議も欠席のため、活動継続の意志を確認し、次年度の年間活動計画が提出された場合は、運営会議代表、担当出張所長及びレンジャー事務局で内容を確認し、計画を決定する。

3. 主な意見等(○意見、⇒直前の意見に関連した議論)

(1) 淀川管内河川レンジャー代表者会議開催の報告

- 河川レンジャー活動の課題のひとつに「貢献度が低い歴史・文化の分野の取り組みの強化」とある。貢献度が低いという表現が意味することを教えてほしい。

⇒河川レンジャーの活動は、分野を大きく6つに分類整理しており、活動後にはレンジャー自身が主にどの分野に貢献したのかを分類整理している。現状では、河川レンジャーの活動において歴史・文化分野を主とした活動が少ないということの意味している。

(2) 令和3年度新規河川レンジャーの任命

- 河川災害をきっかけに川への関心が高まってきているが、河川レンジャー活動を通じてさまざまな切り口から、住民の川への関心を高めることが重要である。
- 実際に活動に関わることで、準備から実施までのノウハウを学ぶことができ自分が企画する主催活動にも活かせることがあると思うので、積極的に他のレンジャーの活動にスタッフとして参加してほしい。

(3) 審議

1) 河川レンジャー活動の成果と課題及び令和4年度河川レンジャー年間活動計画(案)

【福島出張所管内】

①平井レンジャーの活動

- 水防団や河川レンジャーアドバイザーとして、引き続き活動していただきたい。
- 治水施設や工事の見学を行う活動について、詳しく教えてほしい。
 - ⇒自身は、台風時がきっかけで防潮堤に関心を持った。下流域では、下流から水が逆流してくる高潮に対しても対策が必要であり、さまざまな河川管理施設が設置されているので、住民に知ってもらえるよう学習会を企画した。
 - ⇒学校教育では、高潮については教えられていないため、津波と高潮の違いがわからない子どもがいる。河川レンジャー活動を通じて、子どもにも啓発していくことが重要だ。
 - ⇒福島管内では淀川大橋、伝法大橋、阪神なんば線等、堤防よりも低いところに構造物が設置されている箇所がある。そういったところに、水を堰き止める施設(陸閘)を設置している。水位が高くなったときには扉を閉めるようになっている。施設が正常に作動するかどうかを、平常時に点検を行っている。淀川陸閘は、7月の第一土曜日に開閉作業の訓練を行っており、平井レンジャーは訓練日にあわせて活動を企画し、住民と見学する活動を過去に実施されている。

②桑村レンジャーの活動

- 自身も淀川を探訪する活動を実施したいと考えている。どのように活動を組み立てているのか知りたい。
 - ⇒大阪市立大学に通っており、大阪文化ガイド講座でウォーキングコースの構築について学んだ。年配の方もいるので、最大でも4~5キロくらいのコースが

よいと思う。新淀川の歴史に興味があり、旧中津川を中心に歩くコースをつくっている。また、淀川で行われている工事を調べ、コースに含め参加者に説明している。実施にあたっては、淀川河川事務所を通じて、関係機関からも協力を得て、施設見学を行っている。

⇒淀川下流では、多くの河川工事が進められている。関心を持って、工事の目的や環境配慮についても調べて、活動を通じて住民に伝えてほしい。

- 活動にあたり、河川に関する資料で、必要なものがあれば、出張所へ相談してほしい。

③山本レンジャーの活動

- 卒業証書は、学校ごとに必要数を教育委員会へ報告し、発注する仕組みになっていると思う。小学校を対象に、ヨシを使った卒業証書を作成する活動に関しては、その点を考慮しておく必要があるのではないか。

④牧野レンジャーの活動

- 河川レンジャーアドバイザーが学校と連携した活動を実施しており、つながりがある。学校と連携した活動をされるのであれば、アドバイザーに相談してみてもよいと思う。

【毛馬出張所管内】

①伊藤レンジャーの活動

- 防災学習（マイ・タイムライン等）の対象者を子どもにしている理由を知りたい。
⇒子どもを対象にすることで、親の関心もひくことができる。また、区役所を会場として使用すれば、地域住民の参加を促すことができるのではないかと期待している。自然観察会では、親子で参加してもらい、付き添いで来られた大人には、川の現状や問題について説明するよう工夫している。
- 毛馬排水機場や淀川大堰の魚道見学は、密にならないよう少人数での活動を計画してほしい。各施設に関して、簡単な説明は出張所職員でも対応が可能である。実施計画を作成する際には、改めて相談してほしい。

②岸田レンジャーの活動

- クロベンケイガニ釣りは、昨年度に参加した方でまた参加したいという声を聞いている。活動の詳細が決まったら昨年度の参加者にも案内されてはどうか。

③松田レンジャーの活動

- 事務局で作成されている河川レンジャー活動のマニュアルには、さまざまな分野の活動ノウハウがまとめられているので、活用してはどうか。
- 沿川自治体に設置されている地域包括支援センター等を訪れることで、地域でボランティア活動をしている人とつながりができれば、河川レンジャーとして地域でどのような活動を行う必要があるかわかるのではないかな。
- 下流域の各地区には、ボランティア交流会があると思うので、参加して、地域でボランティア活動をされている方々と交流すれば、河川レンジャーとしてどういった活動をしていくかのヒントが得られると思う。
- 淀川について学ぶのであれば、淀川資料館や資料室を活用するとよい。
- ウォーキングの下見は、先輩レンジャーと一緒に実施できれば、注意すべき箇所についてアドバイスを受けることができるのではないかな。また、一緒に行けない場合も着眼点などをあらかじめ教えてもらってから下見をすると、下見で見るべきポイントを押さえておくことができると思う。

④河川レンジャー全体に対する意見

- 淀川では、河道内の樹木を治水・環境面を考慮して大規模に伐採している。樹木は伐採しても切り株から芽が出て数年で元どおりになる。芽が出た段階で刈り取ることができれば河道内の樹林化を防止することができる。河川レンジャー活動として、地域住民とも連携してぜひ取り組んでほしい。
- 防災の活動で、津波・高潮ステーションを活用してほしい。施設では、東南海・南海地震と津波、地震、津波発生時の対応等を学ぶことができる。
- かつては、人と川が深い関わりをもっていたが、現在では川の近くに住んでいても川は遠い存在になっており、自分たちの河川という意識が薄れ、川は河川管理者が管理するものと思っている人が多いように思う。そのせいか、平気でごみを捨てる、川の危険が知られておらず逃げ遅れが発生する等している。地域住民にもっと川に関心をもち、川の楽しさ、生き物について知り、あわせて川の危険（洪水）についても知ってほしい。住民と行政の間に介在してコーディネートしてほしい。
- 親が子どもに話をしても興味示さないが、子どもが興味をもったことは、家のなかで話をすると親も興味をもってくれるように思う。令和4年度の年間活動計画では、子どもを対象にした活動も多く計画されているのでよいと思う。
- 学習指導要領が改訂され、総合学習において、地域のことや環境のことについて学ぶ内容が含まれるようになったが、新たな取り組みで小学校の先生もどう教えていいのか悩んでいるという話もきく。河川レンジャーとしてやりたいこ

とを伝えるのも大事だが、あわせて学校のニーズも聞き取るよう心がけてほしい。河川管理者としても活動を支援していきたい。

2) 令和4年度新規河川レンジャー展開計画(案)

特に意見はなかった。

(4) 今後のスケジュール(案)

特に意見はなかった。

以上